

研究課題名	次世代シーケンス技術を駆使したウイルスゲノム解析によるC型肝炎の病態解明と臨床応用
研究機関名	山梨大学大学院医学工学総合研究部 武蔵野赤十字病院消化器科 虎の門病院肝臓センター 山形大学医学部内科学第二講座 国立感染症研究所室 福井大学大学院医学系研究科 東京医科歯科大学・肝臓病態制御学講座 京都大学大学院医学研究科 広島大学病院 北海道大学大学院医学研究科
研究責任者	所属 消化器科 氏名 黒崎 雅之
研究期間	平成26年4月 ～ 平成28年3月
研究の意義・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ C型肝炎の治療経過・病態の多様性はC型肝炎ウイルス遺伝子および宿主遺伝子の多様性を背景としていることから、ウイルス因子・宿主因子の多様性と病態の関連を明らかとすることは、C型肝炎の制御に不可欠と考えられます。 ・ 近年のシーケンス・テクノロジーの革新により、生体内のC型肝炎ウイルスの全体像と臨床像、宿主遺伝子情報との統合的な解析が技術的に可能となってきました。 ・ 本研究では近年の次世代シーケンス技術を利用して、多数の臨床症例よりC型肝炎ウイルス遺伝子と臨床像との関係を明らかとして病態解明、治療効果予後予測に応用することを目的とします。 ・ このことにより肝硬変への進展・肝癌発症・治療抵抗性などの予後予測診断による個別化医療の実現、HCV病原性機構に関する科学的理解、肝炎制御法開発の新たな基盤形成などにおいて大きな進展が期待されます。 ・ 本研究は厚労省科学研究班 課題名 次世代シーケンス技術を駆使したウイルスゲノム解析によるC型肝炎の病態解明と臨床応用（研究代表者 山梨大学第一内科教授 榎本信幸）の分担研究として行うものです。
研究の方法 (対象期間含む)	抗ウイルス療法をうけるC型慢性肝炎の患者さんを対象とし、血液中のC型肝炎ウイルス遺伝子を解析して、治療効果との関連を検討します。
個人情報の取扱い	個人情報保護法の趣旨に沿って個人情報を取り扱います。個人情報を記載した資料（書類）は、管理責任者（調査実施責任者および担当者）の適切な管理の下、第三者からの不正アクセス、第三者への漏えい防止および紛失等その他の安全管理を厳重に行います。
問合せ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 消化器科 氏名 黒崎 雅之 TEL：0422-32-3111（代表）6813（事務局内線） FAX：0422-32-3525